

ロンドンの空に 「日の丸」を

8月29日(水)から開催される、2012ロンドンパラリンピックの自転車競技日本代表として、稚内出身の藤田征樹選手の出場が決定しました。藤田選手は、4年前に開催された北京パラリンピックに出場し、銀メダル2個、銅メダル1個を獲得する快挙を成し遂げています。

7月6日(金)、総合文化センターにて、「藤田征樹選手」稚内市民激励会が行われ、多くの市民や関係者が激励に駆けつけました。同激励会実行委員長の工藤市長から「4年前の北京大会では、大きな困難を乗り越えて、銀、銀、銅の3つのメダルを獲得し、大きな感動と勇気を与えてくれました。自転車競技が盛んなヨーロッパ勢、オセアニア勢と戦って表彰台を目指すのは決して簡単なことではない」と聞いていますが、藤田選手ならきっと活躍してくれると思っています。市民の皆さん一人ひとりと声を大にして心から声援を



市民激励会にて抱負を述べる藤田選手

こうして、代表に選ばれたのは、自転車関係の皆さん、職場の皆さん、今、住んでいる茨城の皆さん、そして地元稚内の皆さんのお援、サポートがあつたからこそです。本当に心より感謝申し上げます。

これから大会までの2か月弱の短い期間ですが、一日一日を大事にし、しっかりと追い込んでいくことを

送ります。頑張ってください」と力強いエールが送られました。藤田選手からは「4年前、北京大会が終わった後、もう一度、次のパラリンピックに出場し表彰台に立ちたかった」という気持ちを強く持つて4年間取り組んできました。

また、ロンドン大会が終わったら、笑つてメダルを首にかけて帰つてきたい、と思つています。最後まで応援よろしくお願ひします。」と、会場に集まつた皆

藤田選手が出場予定の競技種目

◆トラック競技

●8月30日(木)

MC1-3 1000メートルタイムトライアル

MC3 3000メートル(個人追い抜き)パシュート

◆ロード競技

●9月5日(水)

MC3 ロードタイムトライアル

MC1-3 ロードレー

… 藤田征樹選手プロフィール …



生年月日／昭和60年1月17日
所属／日立建機株式会社 研究本部技術センタ
出身校／稚内市立稚内港小学校
稚内市立稚内南中学校
北海道稚内高等学校
東海大学大学院

写真提供：日立建機

主な表彰及び成績

(北京パラリンピック以前の成績は省略しています)

- ・北海道民栄誉賞(平成20年10月)
 - ・稚内市民栄誉賞(平成20年10月)
 - ・稚内市体育協会特別賞(平成20年10月)
 - ・北海道スポーツ賞(平成21年10月)
- ※稚内市観光大使委嘱(平成21年11月)

◆北京パラリンピック

平成20年(2008年)9月 中国

- ・男子1000mタイムトライアル(LC3-4)銀メダル
- ・男子3000m個人追い抜き(LC3)銀メダル
- ・男子ロードタイムトライアル(LC3)銅メダル

◆UCIパラサイクリングトラック世界選手権

平成21年(2009年)11月 イギリス

- ・男子1000mタイムトライアル(LC3)金メダル
- ・男子3000m個人追い抜き(LC3)銀メダル

◆アジアパラリンピック競技大会

平成22年(2010年)10月 中国

- ・男子3000m個人追い抜き(C1-3)銀メダル

◆UCIパラサイクリングロードワールドカップ第1戦

平成23年(2011年)5月 オーストラリア

- ・男子ロードレース(C3)銅メダル

◆オセアニア選手権パラサイクリングトラック大会

平成23年(2011年)11月 ニュージーランド

- ・種目・クラス複合(C1-3)銀メダル



写真提供：エックスワン

さんにお礼と決意が述べられました。

藤田選手が出場する予定の競技種目は、トラック競技とロード競技の4種目です。

市民の皆さん、藤田選手に声援を送りましょう。

市長です。

「本格的な夏、イベントが目白押し」

先日、「エブロノーザンロード・カー＆おなごフェスタ」が行われ、我がまちを代表する魚“おおなご”的フードフェスタと、道内外の“グラシックカー”が集結という、夏の最初を飾るイベントに参加しました。

また、大きな交通事故から奇跡的にその困難を乗り越えて、4年前の北京パラリンピックで大活躍し、稚内市民に大きな感動と誇りを与えてくれた、自転車競技日本代表の“藤田征樹君”的激励会も開催しました。ロンドンでの活躍を願うばかりですが、何よりも彼のチャレンジ精神を、もつと多くの皆さんに知つてもらいたいと思っています。

もう一つ、実は稚内市は、東京の板橋区にある“大山ハッピーロード”という二百数十軒の店が軒を並べる大きな商店街になりました。5年ほど前からアンテナショップを出しています。

先日、その商店街から関係者の方々がお見えになつて、単なるアンテナショップではなく、地方と東京を結ぶ様々な交流の場としての利用を、とのご提案をいたしました。